

大きく育て、平和への願いとともに 被爆アオギリ二世を植樹



昨年開催された高山市平和サミットで松井一實^{まつい かずみ}広島市長(平和首長会議会長)から贈られた苗木「被爆アオギリ二世」を6月23日、昭和児童公園(ポッポ公園)に植樹しました。

写真左から、小林 浩^{こばやし ひろし}さん(市遺族会連合会会長)、國島芳明^{くにしまみちひろ}市長、下垣内 優月^{しもがいと}さん(中学生代表・丹生川中学校3年生)、水門義昭^{すいもんよしあき}議長、黒木正之^{くろき まさゆき}さん(市平和都市宣言検討会議会長)。

■被爆アオギリ二世とは…親木は昭和20年8月6日に被爆。爆心地側の幹半分が熱線と爆風により焼けてえぐられましたが、焦土の中で青々と芽を吹き返し、被爆者に生きる希望を与えました。二世は親木の種から育てられたものです。